

令和 7 年度事業計画書

令和 7 年度についての大きな課題は、入所の超強化型への移行定着及びデイケアのご利用者の回復にある。

特にデイケアについては日光会の収益の柱であり、利用者の増加しない原因の分析と体制を含めた抜本的な見直しを行うことで、改善を図ることが喫緊の課題である。

保育園については定員に対し、ほぼ満額の収入が得られる状況になっているが、認可保育所における 2 人目からの子供の無償化スタートにより、認可保育園へ移ることを希望する保護者が増加しており、また顕著な出生率の低下もあり、入園希望者が今後減少することが懸念される。

入園希望園児を日頃よりしっかり管理し、園児の入れ替わりにスムーズに対応することで、今の状況を維持していくことが重要となる。

技能実習生については、実習終了後も継続して働いてもらえるような対策が必要である。(飲食業界への転職希望などがみられる)

経費面では、適正な人員の見直し、職員の定着率を高めることによる人材紹介料の削減等人件費の抑制に努めるとともに、常に業務に無駄がないかきめ細かく見直しを行っていくものとする。

パート職員の効率的な活用についても進めていく必要がある。

コロナ時には各種イベントの自粛や縮小、面会制限など大変ご不便をかける結果となってしまった。しかしながら、コロナが収束した今日においても元の状態には戻っていない。

ご利用者様の満足度の充実は常に意識しているところであり、より充実した生活を送っていただけるように努力を行わねばならない。

老健やデイケアご利用者様と保育園児の交流などは非常に好評であり、可能な限り実施回数を増加させるものとする。

また、ボランティアの受け入れも積極的に働きかけるものとする。

また、ご利用者様の満足度を高めるために、真心からのおもてなしを感じていただけるように、理念研修などを通じて職員の質の向上を図るべく力を注いでおり、職員よりの改善提案も積極的に採用し、ご利用者様の過ごしやすい環境整備にも引き続き努力するものである。

経費面では電気料金を始めとした諸物価が高騰しており、採用環境についても介護業界での勤務希望者の減少もあり非常に厳しくなっている。

介護職員採用が困難になることを見据えて、令和 1 年より技能実習生(ミャンマー女性)を受け入れているが、ご利用者にも特に問題なく、今後についても計画的に受け入れを進めていくものとする。(現在実習生は 6 名)

〈令和 7 年度収支予算係数〉

収入	568,000,000 円
費用	554,900,000 円
サービス活動外収支	800,000 円
収支差額	12,300,000 円

令和 7 年 6 月 6 日
社会福祉法人 日光会
介護老人保健施設 二葉園

令和 6 年度事業報告書

介護業界は、ここ数年人件費や諸物価の高騰による経費が増加する一方で、コロナの影響によるご利用者様の利用控えや、感染防止のための受け入れ制限などによる収入減少が続き、極めて厳しい経営環境となっていた。

令和 6 年度についてはコロナ等の影響も減少し全体的に改善していくものと期待されたが、特に通所デイケアについては期待するような回復に至らず、原因分析も含め体制の見直しを行っているところである。

老健については、介護報酬の改定もあり、収入増加となったが、予定していた超強化型への移行は次年度へ持ち越しとなった。

令和 2 年 2 月にオープンした保育園については 6 年度は定員一杯の園児を確保し、安定した運用となっている。

また、子供を預けて日光会で勤務を希望する職員の採用にも寄与している。

経費面では電気料金を始めとした諸物価が高騰しており、採用環境についても介護業界での勤務希望者の減少もあり非常に厳しくなっている。

介護職員採用が困難になることを見据えて、令和 1 年より技能実習生（ミャンマー女性）を受け入れているが、ご利用者様にも特に問題なく、今後についても計画的に受け入れを進めていくものとする。（現在実習生は 6 名）

令和 7 年 6 月 6 日
社会福祉法人 日光会
介護老人保健施設 二葉園